平成29年度当初予算案 主要事業

平成28年10月に発生した鳥取県中部地震や度重なる雪害からの復興を加速させ、その教訓を生かし災害に強い安心の地域づくりを進めるとともに、震災を乗り越え本県の活力を更に高めるため、平成29年度当初予算編成では「震災復興と災害に強い地域づくり」「ふるさとの魅力向上」「産業振興・雇用の安定」「暮らしの安心」「未来を支える人財の育成」の5つを重点的な施策の柱として位置づけた。

^{全体テーマ} **復興、そして福興**

(注)右端のページ番号は、事業別参考資料の頁を示す。

1 震災復興と災害に強い地域づくり 35事業

震災復興活動支援センターを倉吉市に設置し、住民や民間団体主体の地域を元気にする復興活動をサポートするとともに、緊急実施中の団体旅行バス助成を継続するなど酉年にちなんだ一大観光キャンペーンを展開し、経営革新制度を活用した中小企業の復興支援や緊急融資枠も確保する。また、地震対応に関する検証や今後の防災対策を検討するとともに、地域防災リーダーの養成や避難所運営に係る人材育成、福祉避難所の迅速な開設に向けた体制整備、災害時における外国人対応や支え愛マップを活用した要支援者対策などを強力に進める。更に、屋根瓦の耐震化など住宅耐震化補助を拡充し、公共施設の天井等の強化を進めるなど、災害に強い地域づくりの基盤を固める。

| | | | | | | | | | | (単位 十门) | |
|-----------------------------|-----------|-----|---------------------|-----------------|-------------------------|---|-----------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---------|-------------|
| 所 | 属 | 名 | 事 | 業 | 名 | 事 | 業 | 概 | 要 | 予算額 | 貢 番 号 |
| 1) | 災人 | からの | 復興 | (1: | 3) | | | | | • | |
| 元気づく 参画協 →中部: 部事務 | 働課 地震征 | | (新) 震災復興 設置事業 | | 爰センター | 鳥取県中部震災からの役 う「震災復興活動支援セ | | | | 13,039 | 1 |
| 元気づる 参画協 サ中部: 部事務。 | 働課 地震征 | | (新) 震災復興 | 興活動特別 | 引支援事業 | 鳥取県中部地震からので 地域づくりを推進するたる 様々な活動を支援する補 10、10万円、大規模活動 | か、住民団体、 i助制度を新 <i>f</i> | NPOなど多様 こに創設する。(| な主体が自ら実施する 小規模活動型:10/ | 30,000 | 2 |
| 元気づく とっとり | | | ターン推 | | ります」IJU 鳥取県の人 事業) | · _ · _ · _ · | ジやパンフレッ | | | 595 | 3 |
| 観光交観光戦 | | | ペーン」 | | マヘキャン 体向け観光 業) | 「とっとり年は鳥取へキャ 中部地震で落ち込んだ観 する。 【参考/とっとり年は鳥取 団体バス代支援をはじめ 事業等を一体的にキャン 図る。 | 記光需要の回 スヘキャンペー 、WEB予約 | 復のために取り。 -ン事業(総額16 事業者と連携した | 組む事業に対して支援 5,172千円)】 た誘客促進、情報発信 | 10,000 | 4 |
| 観光交流推 | | | 地域国際 | | 北東アジア 3力地方政 業 | 本県と本県の友好交流ダンゴル中央県)の首長が 政府サミット」を鳥取県中 サミットでは、防災、災害 | 一堂に会する 部地震で被災 | 「北東アジア地 とした中部地域で | 域国際交流・協力地方 で初めて開催する。この | 28,560 | 5 |
| 生活環定 | | くり課 | とっとり(事業 | の美しい | もなみづくり | 鳥取県中部地震により、 形成する住宅に被害が生 (修景)に係る所有者支持 1/9・所有者2/9) | Eじており、美 | しい景観を取り | 昊すために必要な補修 | 12,000 | 6 |
| 生活環 | | くり課 | (新) 住宅修約 | 善促進支持 | 援事業 | 鳥取県中部地震による信んでいないことから、県外 被災世帯の費用負担軽 【2月補正:6,000千円】 | ト職人の招致 | を行う県内職人 | 組合の取組を支援し、 | 6,000 | 7 |
| 商工労企業支 | | | | 反経営革 旧・復興 | 新総合支援 型〉 | 鳥取県中部地震で被災し 要する経費を支援する。 以内) | | | | 100,000 | 8 |
| 商工労企業支 | | | (新) がんばる 金融支担 | | 泛援!特別 | 鳥取県中部地震により、 受けた県内中小企業等! 策資金において5年間無助) | こ対し、緊急の | 金融対策を実施 | 施する。(災害等緊急対 | 160,746 | 9 |
| 農林水生産振 | | | | 岸産地復 | 事業(元気 興·発展加 | 「新甘泉」等優良品種の見るため、専用大苗の供給大きかった王秋を産地復営の支柱の1つとして製 | 体制の仕組の 興のシンボル 産地と果樹農 | みづくりを行う。 ま として戦略的に 家の復興を加速 | た、地震被害が最も 生産拡大し、梨農家経 化する。 | 13,403 | 10 |
| 農林水生産振 | | | | ろう! 園芸 ワーアップ | 産地未来 プ事業 | 鳥取型低コストハウス等 導入・拡大活動を強化し 展、及び候補品目の早期 | 、10億円品目 | 及び1億円品目 | | 91,000 | 11 |
| 県土整 技術企 | | | 地域共同事業 | 司施設災 | 害復旧補助 | 鳥取県中部地震により被種負担補助制度(国制度行う復旧に要する経費に |)の対象とな | らないもの)につ | | 2,700 | 12 |
| 教育委 文化財 | | | (新) ふるさと 業 | の文化遺 | 産復旧事 | 鳥取県中部地震により甚 存修理に支援を行い、文 | | | 至文化財の所有者の保 | 25,160 | 13 |
| | | | • | | | · · | | | | | |

| 所 属 名 | 事 | 業 | 名 | 事 | 業 | 概 | 要 | 予算額 | 貢 番 号 |
|-------------------------------------|------------------------|---------------|--------------|--|---|------------------------------|--|---------|-------------|
| ② 地震の格 | 食証と地 | 域防约 | 災力の | 強化 (13) | | | | | |
| 危機管理局 危機管理政策課 | (新) 鳥取県中部 | 『地震検 』 | 証等事業 | 鳥取県中部地震におけ 討、地震津波被害想定の育成、中部地震から1 し、今後の防災対策に活 | の見直し、住家の 日年目の節目とな | の被害認定・罹 | | 23,958 | 14 |
| 福祉保健部 福祉保健課 →危機管理局 危機管理政策課 | (新) 災害時にお 等の開設・ | | | 福祉避難所等の開設・成本ートする体制を検討すて災害時の速やかな開 | る会議の開催 | や、市町村の村 | | 1,040 | 15 |
| 危機管理局 消防防災課 | 鳥取県防災 交付金事業 | | 理対策 | 自助・共助を担う住民等を促進するため、市町村付金により支援を行う。 を対象として追加し、更り、市町村の自主的な取り、市町村の自主的な取り | が行う防災及で 29年度は鳥取り に特別枠を一本 | び危機管理に 県中部地震の に化し、上限額 | 関する事業に対して、交 教訓等を踏まえた事業 | 68,500 | 16 |
| 危機管理局 消防防災課 | (新) 地域防災リ | 一ダー割 | | 鳥取県中部地震の教訓 避難所運営リーダーの する。 | | | する地域防災リーダーや 3年間、集中的に実施 | 5,431 | 17 |
| 観光交流局 観光戦略課 | (新) 災害時にお 客対応支援 | | 国人観光 | 自然災害等の発生時、 設等における初動体制の か、迅速・的確な対応を る。 | の重要性等につ | いて周知を図 | る研修会を実施するほ | 2,250 | 18 |
| 福祉保健部 福祉保健課 | (新) 災害時にお づくり推進事 | | 文 愛地域 | 鳥取県中部地震を踏まするとともに、継続的なり時における要支援者にり組む自治会等を支援 | 取組として、地域 対する支援の仕 | 或支え愛会議の 組みづくりの! | の立ち上げを行い、災害 | 7,250 | 19 |
| 生活環境部 循環型社会推進課 | (新) 災害廃棄物 業 | 勿 処理計 | 画策定事 | 巨大地震等、大規模災 中部地震を踏まえて、最 を策定するとともに、必 策定を支援する。 | 最新の被害想定 | に基づいた県 | の災害廃棄物処理計画 | 10,638 | 20 |
| 商工労働部 商工政策課 | 鳥取県中小継続計画) | | | 県内中小企業のBCP策 専門家派遣や補助金に | | | 、ワークショップの開催、 | 7,027 | 21 |
| 県土整備部 技術企画課 | 鳥取県版!ボランティア | | | 鳥取県土木防災・砂防7 び地域自主防災組織等 減災に寄与する普及啓 する。 | を対象とした「防 | 5災に関する語 | 講習会」の開催、防災・ | 1,069 | 22 |
| 県土整備部 技術企画課 | 官民連携に 化推進事業 | | 汉県強靱 | 熊本地震、鳥取県中部3 直しを行うとともに、市町 推進会議を実施する。 | | | | 177 | 23 |
| 県土整備部 技術企画課 | 被災宅地危事業 | 危険度判 | 定士養成 | 被災宅地危険度判定士 連携や体制の整備、判力 | | | 判定に係る市町村との | 1,839 | 24 |
| 県土整備部 河川課 | 適切な避難 [単県公共 | | 進事業 | 住民の洪水時における。中小河川において、浸水 | | | | 200,000 | 25 |
| 県土整備部 治山砂防課 | 土砂災害防 | 5止推進 | 事業 | 地域の防災意識の向上 う。 | 等を図るため、 | 防災教育、出 | 前講座、講習会等を行 | 1,892 | 26 |
| ③ 防災機能 | の強化 | (9 |) | | | | | | |
| 元気づくり総本部 とっとり暮らし支援課 | 小さな拠点 業(防災機) | | | 小さな拠点を災害時には 取り組む共助のしくみの 体制の整備や充実など | 計画検討や避 | 難・防災施設と | | 10,000 | 27 |
| 危機管理局 原子力安全対策課 | 原子力防災 | 対策事 | 業 | 原子力災害から県民のの一層強化に必要な原 〜H30)の2年目であり、 整備を進める。 | 子力防災対策等 | 等を行う。29年 | 度は新中期計画(H28 | 488,078 | 28 |
| 地域振興部 教育·学術振興課 | 私立学校施 | 西設整備 : | 費補助金 | 私立中学校・高等学校の 費の一部を助成すること を図る。 | | | | 453,542 | 29 |
| 生活環境部 水·大気環境課 | 原子力環境 化·運用事 | | -機能強 | 島根原子力発電所に係 (10/10)を活用し、原子 H27完成、機能強化はH | 力環境センター | の機能強化を | するため、国の交付金 実施する。(基本整備は | 439,377 | 30 |
| 生活環境部 住まいまちづくり課 | 住宅·建築 援事業 | 物耐震化 | 2総合支 | 住宅・建築物の耐震化さめ、耐震診断・設計・改 め、耐震診断・設計・改 他県民が安心して耐震 る。(鳥取県中部地震を 震対策、非構造部材の | 修費用の助成、 化に取り組むこ。 受けた支援拡発 落下防止対策) | 耐震対策に必 とができる環境 :耐震シェル・ | 要な人材の養成、その 筒の総合的な整備を図 ターの設置、屋根瓦耐 | 117,321 | 31 |
| 警察本部 会計課 | (新) 警察施設整 | と備企画 | 検討事業 | 警察施設の整備につい 29年度は、耐震安全性 修を行うため、現状にお | に問題のある郡 | 『家警察署及で | び浜村警察署の耐震改 | 13,654 | 33 |

| 所 属 名 | 事 業 名 | 事 業 概 要 | 予算額 | 貢 番 号 |
|------------------|--------------------------|---|-----------|-------------|
| 教育委員会教育環境課 | 学校避難所環境整備事業 | 避難所に指定されている県立学校15校の体育館について、トイレの洋式化・多目的化を図るとともに、無線通信ができる環境及びテレビが視聴できる環境を整備する。 また、避難所に指定されている市町村立学校体育館のトイレの洋式化・多目的化、無線LAN環境の整備等について、市町村に対する補助を行う。 | 91,908 | 34 |
| 教育委員会教育環境課 | | 県立学校の旧耐震基準以前の建物で耐震改修が必要なものについて、順次、耐震改修を実施する。(鳥取西、米子東) また、県立学校の集会施設等(ホール等)の非構造部材について、耐震対策 (落下防止対策)を行う。 更に、教育委員会所管の社会教育施設について、天井等の耐震対策を行う。(県立図書館、県立生涯学習センター) | 1,331,760 | 35 |
| 教育委員会 特別支援教育課 | 特別支援教育充実費 (災害時備蓄品の整備) | 児童生徒等が安全かつ安心して学校生活を送ることができるような各種の環境整備を行う。29年度は、新たに、特別支援学校の災害時備蓄品(毛布、トランシーバーほか)の整備を追加する。 | 3,184 | 36 |

2 ふるさとの魅力向上 44事業

働きながらとっとり暮らし体験の機会を提供する「ふるさとワーキングホリデー」の実施や日本一のストレスオフによる暮らしやすさを発信するとともに、まちなかや中山間地域の活性化も支援し、元気高齢者も含めた多世代移住を進める。また、本県が誇る星空を活かしたブランドイメージの構築や豪華寝台列車「瑞風」の運行を契機にした旅行商品造成、伯耆国「大山開山1300年祭」のプレイベントの開催や大山隠岐国立公園満喫プロジェクトを推進する。更に、境港の国際貨客船ターミナル工事の本格化とともに、鳥取砂丘コナン空港の空の駅化及び民間活力導入による運営検討、環日本海定期貨客船を利用したロシア観光客誘致のための旅行商品支援など、国内外からの新たな誘客を展開する。パートナー県政では、トットリズム県民運動の更なる推進や、全国に先駆けて県全体での歴史的公文書の保存利用の取組を進めるとともに、美術館・博物館のネットワーク強化を図る。

| 所 | 属 | 名 | 事 | 業 | 名 | 事 | 業 | 概 | 要 | 予算額 | 貢 番 号 |
|--------------------------|-----------|-----|------------------------|-------------|-------------|--|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|---------|-------------|
| 1 | 移住 | 定住 | の推進 | · 中 | 山間地 | 域の振興 (8 | 3) | | | | |
| 元気づらとっとり | | | (新) 「とっとりで ターン推進 | | ます」ӀIJ⋃ | 移住6千人を実現し、この制度を利用した鳥取起業・新規事業立ち上し舎暮らし志向の女性の移住希望者の対象に合 | 県版「ふるさと「 げを目指す若者 グループ化と交 | フーキングホリラ ・学生のトライス 流会の開催や | デー」の実施、県内でのアル、都市圏在住の田、アクティブシニアなど | 73,513 | 37 |
| 元気づく とっとり | | | みんなで取 域活性化約 | | | 中山間地域の活性化を 用した移住定住、コミュ わせて、条件の厳しい 将来の集落を担う新た | ニティビジネス 小規模高齢化類 | 及び地域活性化 養落の限界化に | この取組を支援する。あ 歯止めをかけるため、 | 53,546 | 38 |
| 元気づらとり | | | まちなか暮 | らし総合 | `支援事業 | 高齢者をはじめとした地 ティの担い手となり得る 生を図るため、生活実覧 用した移住定住、コミュ | 若者・子育で世 態調査を実施す | t帯にとっても魅 るとともに、地‡ | カある「まちなか」の再 或資源や遊休資産を活 | 13,000 | 39 |
| 元気づく | | | 移住定住情 | 青報発信 | 強化事業 | 大都市圏等の県外在住住を考えている方々なる を届け、鳥取県へのIJUなどの活用により強力I | どに、鳥取の暮 Jターンにつな! | らし、子育て、京 ずるため、イベン | | 18,319 | 40 |
| 元気づく | | | 小さな拠点業 | 機能形成 | 成推進事 | り組む「小さな拠点」づく 営、担い手の育成に向 | め、中山間地域 くりを進め、機能 けた支援を行う | 域の複数集落や ヒ形成や防災機 。 | 地域住民が連携して取 能の構築、持続的な運 | 49,621 | 41 |
| 元気づく女性活 | | | (新) ストレスオ: | フ環境拡 | 大事業 | 28年度に行った調査に た子育て環境や地域で することで、移住や観光 ついては、解消に向けれ 組を実施し、ストレスオ | の人間関係な 法誘客につなげ た取組や働きや | どについて、SN るとともに、スト | IS等を通じて情報発信 | 6,804 | 42 |
| 商工労就業支 | | | 学生等県内 | 内就職加 | 速化事業 | 県内外の学生等の県内 援のほか、大学生を対 等支援、大手就職情報 信に取り組む。 | 象としたインタ- | -ンシップの実別 | 拖及び参加に係る旅費 | 75,203 | 43 |
| 商工労就業支 | | | IJUターン 事業 | 具内就職 | 促進強化 | 県外からのIJUターン就 と連携した県内出身学! 見学に係る交通費助成 に取り組む。 | 生への情報発信 | 言、企業紹介フェ | ェアの開催や県内企業 | 30,263 | 44 |
| 2 | 大玄 | E流明 | 代の新 | 展開 | (27 | 7) | | | | | |
| 総務部東京本 | 部 | | 首都圏アンネスセンタ | | | 鳥取・岡山両県が共同館」において、両県の物提供、観光・移住情報の度は、野菜に詳しい専り体的にアピールする等 |]産の展示・販う D提供・発信、b 門家を常駐させ | たや両県の食材 ごジネスセンター て、県産野菜の | や商品を使った飲食の の運営等を行う。29年 | 129,770 | 45 |
| 総務部関西本 | | | メイドイン点 拓事業 | 鳥取•関西 | 5販路開 | 鳥取県に近い大消費地組、旬の農林水産物の 化・農商工連携で開発。 取県」の認知度向上を[| PR活動、「'17 された新商品等 | 食博覧会 大阪 | 」への出展、6次産業 | 41,344 | 47 |
| 地域振 交通政 →観光 観光単 | 策課 交流局 | | 国際航空係 | 更利用促 | 進事業 | | に係る支援を行 . 往来の創出に キャンペーンや | うとともに、香 つながる取組を | 巷・マカオ地域等との教 を支援するほか、航空会 | 83,910 | 48 |
| 地域振 交通政 →観光 観光単 | 策課 交流局 | | 新たな航空 | ≧旅客創↓ | 出事業 | 県内両空港を発着する て新たな旅客の開拓を 通の整備等による利便 | 図るとともに、3 | 空港の情報発信 | 機能の強化や二次交 | 73,550 | 49 |
| 観光交 | | | (新) 世界に誇オンド化推進 | | マ県」ブラ | 本県が誇る日本一きれ 発信し、観光客の誘客 企画の事業化を進める | に活用していく | | | 22,924 | 50 |
| 観光交観光戦 | | | (新) 観光客の心 域創造事業 | | 帯在型地 | | まする特色ある? 材づくり及びこ | 官泊体験(民泊、 | た地づくりを進めるため 、古民家活用)を中心にた「魅力ある滞在エリア | 16,000 | 51 |

| 所 属 名 | 事 業 | 名 | 事 | 業 | 概 | 要 | 予算額 | 貢番号 |
|--------------------------------|---|-------|---|----------------------------------|------------------------------------|--|---------|-----|
| 観光交流局 観光戦略課 | サイクリストの聖地 備事業(サイクルツ 推進事業) | | 近県と連携した広域サルツーリズムの全県展び整備を進めるととも1トの聖地鳥取県」の実 | 関を行うため、り こ、サイクリストの | 県内横断や域内 | 周遊ルートの設定及 | 29,500 | 52 |
| 観光交流局 観光戦略課 | (新) 平成30年山陰デス ションキャンペーン | | JRグループ6社と山陰 開発や全国的な宣言を ンキャンペーン(山陰D DC: H29. 7~9月) | を行う広域的な観 | 光キャンペーン | 「山陰デスティネーショ | 53,000 | 53 |
| 観光交流局 観光戦略課 | (新) 旅情あふれる"鳥鈖 造事業 | きの旅"創 | 瑞風の運行開始を契材 西日本等の鉄道事業を げやツアー造成ととも 支援を行い、鳥取なら | 者と連携した県内 に、他県にない愿 | nの鉄道に関連し 感動あふれるおも | た観光素材の磨き上 てなしの取組等への | 36,017 | 54 |
| 観光交流局 観光戦略課 | (新) 伸びるASEAN新規 らの誘客事業 | 見市場か | 訪日外国人観光客数の フィリピン、ベトナムから 指す。 | | | | 6,100 | 55 |
| 観光交流局 観光戦略課 | (新) 平昌オリンピック・ノ ピックを活用した人 活性化事業 | | 平昌オリンピック・パラ 客につなげていくため、 貨客船)等を活用した。 | 、韓国との国際に | と期便(米子ソウ | ル便・環日本海定期 | 5,000 | 56 |
| 観光交流局 観光戦略課 | (新) ロシアからの訪日観 大事業 | 見光客拡 | 鳥取県へのロシア人観ア全土に拡大するととた た誘客を拡大させる。 | | | | 4,950 | 57 |
| 観光交流局 交流推進課 | (新) モンゴル中央県友好 周年記念事業 | 好交流20 | モンゴル中央県との友 派遣など、両地域が共 | | | から、訪問団の相互 | 6,071 | 58 |
| 観光交流局 まんが王国官房 | (新) まんが・アニメツー! 進事業 | リズム推 | 本県に縁のあるまんがなど、インバウンド観光 ツーリズム協会やJRな | んや国内観光を促 | 足進するため、全 | | 26,645 | 59 |
| 観光交流局 西部地域振興局 | (新) 伯耆国「大山開山1 祭」推進事業 | 300年 | 平成30年の伯耆国「ブイヤーと位置付け、圏」 により機運醸成と認知 充実に活かしていく。 | 域市町村等と連 | 携したプレイベン | トの実施や情報発信 | 96,332 | 60 |
| 生活環境部 緑豊かな自然課 | (新) 国立公園満喫プロ: 推進事業 | ジェクト等 | 環境省「国立公園満喫 国立公園において、今 目標に、ナショナルパー 示施設、展望・休憩所 | 後、外国人観光 ークに相応しいヒ | 客数を現在の2 シューポイント(登 | 5倍に増やすことを | 695,370 | 62 |
| 生活環境部 山陰海岸ジオパーク 海と大地の自然館 | 山陰海岸ユネスコt パーク創生事業 | 世界ジオ | ユネスコ世界ジオパー ヤック等アクティビティ パーク活動への支援な らの誘客促進を図る。 て、地域住民の気運醸 | 活動の推進、国 など山陰海岸ジオ また、30年度の | 際化に向けた取 ⁻パークの魅力向 ユネスコ世界ジ: | 組、その他様々なジオ]上を図り、国内外か | 105,346 | 63 |
| 生活環境部 くらしの安心推進課 | (新) 民泊制度活用検討 | 事業 | 住宅宿泊事業法(仮称 能日数や住宅専用地域の検討を行う。 | | | | 1,396 | 65 |
| 商工労働部 通商物流課 | ロシアビジネス拠点 事業 | 化構築 | 今後の日露経済関係の 企業・人的交流分野に 企業等のロシア進出支 振興と地域経済活性化 県ウラジオストクビジネ | おける協力プラマ 援、環日本海定 とを目的とした「E | ットフォーム(協語 三期貨客船を活用 ヨロ「海の道」フォ | 議会)」による県内中小 引した日露双方の地域 ・一ラム」の開催、鳥取 | 21,284 | 66 |
| 商工労働部 通商物流課 | 環日本海圏航路利 業 | 用促進事 | 日露経済協力プランの に創出される輸送需要 専門展示会への出展等 化し、更なる利用促進 | を確実に取り込 等を通じて、環日 | むため、国内外 | での広報活動や物流 | 12,750 | 67 |
| 商工労働部 通商物流課 | 環日本海圏航路就 業 | 航奨励事 | 環日本海定期貨客船の 1/10)を継続する。(| | | | 36,400 | 68 |
| 県土整備部 河川課 | 美しい海辺保全対領風・ジオパーク関連 [単県公共事業] | | 観光等で注目されてい 浜崖状態にある箇所に た、新工法の試行等も の安全の確保及びサン | こついて緊急対策 併せて実施し、 ³ | き(サンドリサイク 現在整備が進め | ル)を実施する。ま | 101,200 | 69 |
| 県土整備部 空港港湾課 | 境港管理組合負担 機能における重点が | | 境港の港湾機能の充 客活動・受入体制整備 等を実施する。 | | | | 98,246 | 70 |
| 県土整備部 空港港湾課 | 境港管理組合負担 施設整備事業) | 金(受入 | 外港竹内南地区貨客組 るとともに、大型クルー アジア最大級のクルー 安全対策検討の実施及 | -ズ客船の受入に -ズ客船である「ク | こ対応するためヤ ファンタム・オブ・ | 竹内南岸壁において、 | 47,000 | 72 |
| 県土整備部 空港港湾課 | (新) 鳥取空港国内線ター ル機能強化支援事 | | 鳥取砂丘コナン空港を 口拡大と地域産業の混 を図るため、鳥取空港 る費用の一部を支援す | 舌性化に向けた剤 ビル(株)が実施 | 复合施設「空の馴 | 引として利活用の推進 | 150,000 | 74 |
| | I | | I. | | | | | |

| 所 属 名 | 事 業 名 | 事 業 概 要 | 予算額 | 貢 番 号 |
|-------------------|-------------------------------------|--|-----------|-------------|
| 県土整備部 道路企画課 | 直轄道路事業費負担金 [直轄公共事業] | 高速道路の未開通区間の解消を更に促進するための直轄道路事業費に係る負担金。 ・山陰道鳥取西道路 ・山陰道北条道路 ・山陰道米子道路(付加追越車線整備) ・鳥取自動車道(付加追越車線整備)等 | 5,446,402 | 75 |
| 県土整備部 道路建設課 | 地域高規格道路整備事業 [一般公共事業] | 中国縦貫自動車道、山陰道、鳥取自動車道、米子自動車道等の高規格幹線道路を補完し、地域の自立的発展や地域間連携を支える地域高規格道路を整備する。 ・国道178号岩美道路(山陰近畿自動車道の一部) ・国道313号倉吉道路、倉吉関金道路、北条倉吉道路(延伸)(北条湯原道路の一部) ・国道181号江府道路(江府三次道路の一部) | 2,650,000 | 76 |
| ③ パートナ | 一県政 (9) | | | |
| 元気づくり総本部 参画協働課 | トットリズム県民運動拡大事業 | 28年度から開始したトットリズム県民運動について、地域づくり団体や青年団体、商工団体、学生等の多様な主体による活動へと拡大し、県民総参加による運動へと更なる推進を図る。 | 59,909 | 77 |
| 元気づくり総本部 東部振興課 | 日本風景街道「新因幡ライン」魅力向上事業 | 国道29号線が日本風景街道に登録されたことを契機として、鳥取・兵庫両県 の沿線一帯の官民が連携して、観光・交流人口の増加、風景や環境保全活 動などに取り組むことを通じてにぎわいづくりにつなげるとともに、沿線住民 の地元への愛着の向上を図る。 | 3,800 | 78 |
| 総務部 情報政策課 | 鳥取県自治体ICT共同化推 進協議会による共同化事業 | 行政事務の効率化とコスト削減を目指し、県、市町村が連携して情報システム共同化等を推進する「鳥取県自治体ICT共同化推進協議会(平成27年5月設立)」において、共同調達した各種システムの運用管理を行うとともに、各種会議及び研修会を開催する。 | 14,886 | 79 |
| 総務部 情報政策課 | (新) 鳥取・岡山自治体情報セキュ リティクラウド運用事業 | 自治体の情報セキュリティ対策の抜本的強化を図るため、28年度に岡山県 と共同構築を行った自治体情報セキュリティクラウドの運用及び保守を行う。 | 71,848 | 80 |
| 総務部 業務効率推進課 | (新) 規制改革推進事業 | 有識者等による「鳥取県規制改革会議」を設置し、様々な規制の見直し等について検討を行い、規制改革の実現につなげる。 ※会議委員:高等教育機関、金融機関シンクタンク、商工団体、市町村、公募委員 | 1,303 | 81 |
| 総務部 公文書館 | (新) 公文書館センター機能強化・ 充実事業 | 「鳥取県における歴史資料として重要な公文書等の保存等に関する条例」に基づき、歴史的に重要な公文書等のより一層適切な保存管理に向けた取組を進めるため、公文書館が中心となって役割を果たしながら県と市町村との連携・協力体制を構築するとともに、公文書館の所蔵資料のより積極的な利活用などの取組を進める。 | 5,522 | 82 |
| 県土整備部 空港港湾課 | (新) 空港運営方式効率化に関す る検討事業 | 鳥取砂丘コナン空港について、民間活力を導入し空港の活性化や空港運営 の効率化を推進するために、鳥取砂丘コナン空港の新たな空港運営を検討 する。 | 20,000 | 83 |
| 教育委員会 博物館 | (新) 美術館・博物館等ネットワー ク強化推進事業 | 鳥取県ミュージアム・ネットワークが実施する、県内の美術館、博物館等における具体的な協力連携取組の展開計画づくり、及びその加盟館における資料の保管・展示機能の向上を促進する取組(歴史民俗資料館等における資料の整理・保管・展示等について助言・指導を行う指導員を派遣)を支援する。 | 2,378 | 84 |
| 企業局 経営企画課 | (新) 県営発電所における民間活 力活用の検討調査 | 県営発電施設(水力・風力・太陽光)の改修、管理運営について、PFI(コンセッション方式)による実施を検討するため、PFI手法検討調査及び導入可能性調査を実施する。 | 28,887 | 85 |

3 産業振興・雇用の安定 56事業

激変する国際経済情勢も視野に、中小企業に対して新たな海外戦略の支援や国際経済変動に対応した融資枠を設定するとともに、県版経営革新を活用して生産性向上を進め、先端ICT分野などの産業創造、県内外からの起業家発掘に向けた新たなプロジェクトや事業継承による正規雇用の維持を進める。また、県産品ブランド化を推し進め、販路拡大に取り組む地域商社の育成を支援し、鳥取型低コストハウスの導入による高収益な園芸品目の拡大を進めるとともに、県産鶏肉の生産・販路開拓強化、宮城全共での上位入賞を目指した出品牛対策を行う。加えて、沖合底びき網漁船代船建造に対する本県独自の支援制度の創設や安全操業のための高性能ライフジャケット等の導入を支援する。さらに、全国初の県立ハローワーク開設により本県の産業施策や移住定住と絡めた職業マッチングを進めるとともに、託児機能付きサテライトオフィスの設置や短時間勤務の導入など多様な働き方を推進するためのコンサルタントの企業派遣など、暮らしと仕事の両立を進める。

| 所 属 名 | 事 | 業 | 名 | 事 | 業 | 概 | 要 | 予算額 | 貢 番 号 |
|----------------|-------------------------------|-------------|-------|--|-------------------------------|----------------------------------|----------------------------|-----------|-------------|
| ① 県内産業 | 美の成長 | 促進 | (8) | | | | | | |
| 商工労働部 商工政策課 | 鳥取県経済業 | 斉成長戦 | 略推進事 | 経済雇用環境等の変化 取県経済再生成長戦略 平成25年4月改訂)の 見 | (平成22年4) | | | 1,284 | 86 |
| 商工労働部 立地戦略課 | 企業立地 | 事業補助 |]金 | 本県の企業立地を促進き、工場等の新増設企業 【制度改正】リスク分散力が生ずる恐れがある地域 リスク分散加算対象地域 | 美に対し、鳥取 ロ算対象地域(或」を追加する | 県企業立地事業 に「南海トラフ地 | 業補助金を交付する。 震発生時に著しい被害 | 3,199,453 | 87 |
| 商工労働部 産業振興課 | 先端ICT(ボット活用 事業 | | | ICT(情報通信技術)を活内企業、商工団体等の5 先端技術に関するセミナるとともに、先端ICTを活援する。 | 支援機関と連打 一やアイデア | 隽してコンソーシ 創出に向けた「 | ァアムを形成し、最新の フークショップを開催す | 37,713 | 88 |
| 商工労働部 産業振興課 | (新) とっとり未 事業 | 来創造型 | 退業支援 | 県内産業・経済に大きなするため、広く全国からするため、広く全国からするスプランの磨き上げをた上で、金融機関や投資検討を行う。 | 起業家を募集 行い、県内で | し、先輩起業 <mark>家</mark> の事業化の可能 | によるアドバイス、ビジ を性の高いものを選抜し | 5,616 | 89 |
| 商工労働部 産業振興課 | 鳥取の未発り起業女子 | | | 本県における女性の起動 内の起業を目指す女性を | | | | 3,236 | 90 |
| 商工労働部 企業支援課 | 鳥取県版紀事業 | 径営革新 | f総合支援 | 県内中小・小規模事業者 県内産業の高付加価値 に応じて「スタート型」、「 援に取り組む。 | 化、生産性向 | 上を図るため、 | 中小企業等の成長段階 | 1,105,598 | 91 |
| 商工労働部 企業支援課 | (新) 国際経済到 | 变動対策 | 支援事業 | 新たな米国大統領の就り、海外展開戦略等の見門家チームによる助言等制度融資による支援を行 | 直しの必要に その支援、海ダ | 迫られた県内 | 中小企業者に対し、専 | 19,000 | 92 |
| 商工労働部 企業支援課 | 事業承継位継正規雇用 | | | 鳥取県事業引継ぎ支援 持が行われた場合、奨励 し、株式譲渡等による事 働者も新たに支給対象と | か金を支給する 業承継や、非 | る。【制度改正】 | 支給対象要件を拡大 | 20,000 | 93 |
| ② 強い農林 | 林水産業 | づくし | リの推進 | (34) | | | | | • |
| 元気づくり総本部東部振興課 | (新) ビッグデー 農産品・農 デル事業 | | | 東部地区の産学官が連 を行い、対象商品や主ತ 産加工品の新商品開発 ルを作成し、将来的な横 有効利用を図る。 | 要顧客層を絞り あるいは改善 | 」こみ、ニーズに ・改良、及び販 | 即した県内農産品・農 | 1,439 | 94 |
| 農林水産部 経営支援課 | 新規就農 | 者総合支 | 援事業 | 農業の維持発展に不可に必要な機械・施設整備 応援交付金及び農業次い、新規就農者のニース 農の促進・定着を図るた | iへの助成、勍 世代人材投資 ぶにあわせて₽ | :農初期の負担 資金(旧青年京 と階的な支援を | 軽減を目的とした就農 忧農給付金)の支給を行 | 415,938 | 95 |
| 農林水産部 経営支援課 | 鳥取暮らし ポート事業 用支援事業 | (鳥取県 | | 農業経営体が県内の求 実施する実践的な研修等 の確保と早期育成を支援 | 等を助成するこ | | | 182,095 | 96 |
| 農林水産部 経営支援課 | 農地中間領 | 管理機構 | 支援事業 | 担い手農家等への農地 農村担い手育成機構が 間管理事業(農地の賃貸 | 農地中間管理 | 機構の指定を | 受けて取り組む、農地中 | 155,139 | 97 |
| 農林水産部 経営支援課 | 農地集積線 | 総合推進 | 事業 | 今後農業の中心となる終 ンの見直しなど市町村やより、担い手の経営安定 | 市町村農業 | 委員会等が行う | | 480,836 | 98 |
| 農林水産部とつとり農業戦略課 | 鳥取ナシ育事業 | 育種研究 | 拠点開設 | 農研機構果樹茶業研究 ト」(H29.4月開所予定 ら梨育種共同研究と鳥耳 |)の施設整備 | を行うとともに、 | 農研機構と連携しなが | 7,400 | 99 |

| 所 属 名 | 事 | 業 | 名 | 事 | 業 | 概 | 要 | 予算額 | 貢 番 号 |
|-------------------------|--|--------------|--------------|--|----------------------|---------------------|--|---------|-------------|
| 農林水産部とつとり農業戦略課 | (新) とっとり年! 発信事業 | ! おいし | い鶏取県 | | 生産・販路拡大る | | をはじめとする鳥取県 外に対し「おいしいとっと | 13,916 | _ |
| 農林水産部とつとり農業戦略課 | みんなでや 事業 | らいや | 農業支援 | | などの経営発展 | | 5性化の取組や意欲的 、鳥取県農業活力増進 | 222,321 | 101 |
| 農林水産部 生産振興課 | がんばろう い産地づく | | 災害に強 | 本県の強みである園芸な被害を受けたブロッ 強い産地づくりを支援 | コリー、キャベツ | | ため、28年度に甚大について、気象災害に | 12,308 | 102 |
| 農林水産部 生産振興課 | (新) 鳥取梨生産 な鳥取梨産 速化事業) 【再掲】 | | | るため、専用大苗の供 | は給体制の仕組み 復興のシンボル | みづくりを行う。 として戦略的に | ジョイント栽培を推進すまた、地震被害が最もこ生産拡大し、梨農家経 また、地のでは、製農家経まれる。 | 13,403 | 10 |
| 農林水産部 生産振興課 | (新) がんばろう づくりパワ- 【再掲】 | | | | し、10億円品目 | 及び1億円品 | ン、高収益な園芸品目の 目のより一層の産地発 | 91,000 | 11 |
| 農林水産部 生産振興課 | 戦略的スー 備事業 | -パー園 | 芸団地整 | | る。また、多様な | 担い手の参入を | 戦略的に整備して、産 を促すために、低コストな | 7,300 | 103 |
| 農林水産部 畜産課 | (新) 鳥取和牛ブ 事業 | ブランド引 | 鱼化対策 | 月に宮城県で開催され | ιる第11回全国 D産子が、肥育4 | 和牛能力共進 | ると共に、平成29年9 会での活躍が期待され 苛されることにあわせ鳥 | 27,756 | 104 |
| 農林水産部 畜産課 | 第11回全 | 共出品共 | 対策事業 | 平成29年9月に宮城! 前回大会も実施した従 牛の健康管理等)に係 | 住来の取組に加え | 、上位入賞を | 牛能力共進会に向け、 目指す新たな対策(出品 | 19,132 | 105 |
| 農林水産部 畜産課 | 和牛改良・ | 増頭対策 | 策事業 | | 牛生産拡大及び | 高品質和牛肉 | るなか、農家や新規参の増産を図るため、和 に対し支援を行う。 | 173,085 | 106 |
| 農林水産部 林政企画課 | 鳥取暮らし ポート事業 用支援事業 | (鳥取県 | | | 多等を助成するこ | | 音等を雇用し、職場内で 水産業における担い手 | 92,425 | 107 |
| 農林水産部 林政企画課 | 森林整備担 策事業 | ⊒い手育 | 成総合対 | | 享生の充実等に | より魅力ある林 | 技能向上、労働安全衛 業の環境づくりを支援 | 58,463 | 108 |
| 農林水産部 県産材・林産振興課 | (新) 鳥取発!ま 及推進事業 | | 県産材普 | | 太大拠点を整備す | けるとともに、内 | に向け、試験的に常設 装材等の県産材商品を ける。 | 8,758 | 110 |
| 農林水産部 県産材・林産振興課 | 鳥取暮らし ポート事業 援事業) | | | | は研修等を助成る | | ーン者等を雇用し、職場 農林水産業における担 | 51,028 | 111 |
| 農林水産部 県産材・林産振興課 | 間伐材搬出 | 出等事業 | | | オ資源の有効活 | 用を図るととも | など、今後さらなる需要に、適正な森林の保全・ する。 | 702,800 | 112 |
| 農林水産部 県産材・林産振興課 | (新) 県営林業専 [一般公共 | | 設事業 | 適正な森林整備を進め ストを図るため幹線とり 路線名:円谷福山線() | なる林業専用道 | を整備する。 | 発揮・木材生産の低コ | 45,000 | 113 |
| 農林水産部 販路拡大·輸出促進 課 | (新) GI(地理的 録産品拡大 | | | | ランド化に取り | 且む産地を支援 | 」などGI(地理的表示) そするとともに、登録産品 | 5,064 | 114 |
| 農林水産部 販路拡大·輸出促進 課 | (新) 地域商社育 | 育成事業 | | | 販路拡大の活動 路拡大するうえて | に対し支援する |)県産ブランド食材など 6。(※地域商社とは、県 6、物流等の一元化と | 2,000 | 115 |
| 農林水産部 販路拡大·輸出促進 課 | | 5販売 拠 | L点設置調 | | 設置に向け、常言 | 殳型店舗の設置 | プ主体での関西圏におけ 置の可能性を探るためJ を行う。 | 3,965 | 116 |
| 農林水産部 食のみやこ推進課 | (新) 「食のみや 信事業 | こ鳥取り | 具」魅力発 | | もに、SNSを活用 | | 食材や飲食店情報の や観光地のイメージ拡 | 8,500 | 117 |
| 農林水産部食のみやこ推進課 | (新) 出でよ!「¾ みやこ魅力 | | | 首都圏等の一流シェスた、有名シェフの監修 ニューを開発し、県内の「食のみやこ鳥取県」の | のもと「食のみや の飲食店で新た | こ鳥取県」なら な看板メニュー | | 4,039 | 118 |

| 所 属 名 | 事 | 業名 | 3 | 事 | 業 | 概 | 要 | 予算額 | 貢 番 号 |
|---------------------|---|------------------|---------------------------|------------------------------------|-------------------------------|--|---|-----------|-------------|
| 水産振興局 水産課 | (新) 【制度創設】 船代船建造 リース事業) 代船建造支 | 推進事業(児 [沖合漁業) | 網漁 き網 | | 者にリースする | | るため、漁協が沖合底び のうち船体部分(建造 | 【制度創設】 | 119 |
| 水産振興局 水産課 | もうかる漁業 事業[沖合漁 造支援事業 | 魚業漁船代 | 沿建 (もう | | 事業)を活用し | | るため、国の助成制度 証操業において、船主が | 20,000 | 120 |
| 水産振興局 水産課 | (新) 漁業操業安 | 全緊急対策 | 事業 とと t | | 備(高性能ライ | | する講習会を開催する 経急通報システム機能 | 13,566 | 121 |
| 水産振興局 栽培漁業センター | (新) 漁港内養殖 | 可能性調査 | 事業 試験 | | 類養殖による ⁶ | | 『等の技術的な可能性を 及び漁港内養殖の収益 | 8,138 | 122 |
| 水産振興局 水産課 | 漁業就業者 | 確保対策事 | | | | | ∃い手を確保するため、 川を整備・支援する。 | 125,864 | 123 |
| 水産振興局 水産課 | がんばる漁 | 業者支援事 | | の沿岸漁業者等が 造等に必要な経費 | | | 船用機器の購入、漁船 | 13,845 | 124 |
| 水産振興局 境港水産事務所 | (新) 高度衛生管 滑化事業 | 理型市場移 | | 港の高度衛生管理 が行う電動フォーク | | | 要となる卸売業者、仲買 る。 | 14,700 | 125 |
| 水産振興局 水産課 | 特定漁港漁 [一般公共事 | | る防 理型 | 災対応型漁港と消 | 費者の「安心・5 全物の安定的な | 安全」のニーズ | ドに強く流通の拠点とな に対応した高度衛生管 など漁業の国際化にも対 | 2,162,255 | 126 |
| ③ 働き方改 | 革と豊か | な雇用 | (14 |) | | | | • | • |
| 元気づくり総本部 女性活躍推進課 | (新) 託児機能付 フィス推進事 | | ·才 機能 | 付きサテライトオフ | ィス」を設置し、 | 試行的に運用 | することができる「託児 するとともにセミナー、コ ・一体的に実施する。 | 10,589 | 127 |
| 元気づくり総本部 女性活躍推進課 | (新) 地域における 事業 | る女性活躍: | 推進化と | | 、男性経営者(| の意識改革や: | げた「輝く女性活躍加速 女性活躍の機運醸成を き押しする。 | 9,411 | 128 |
| 商工労働部 労働政策課 | (新) 働き方改革3 | 支援事業 | 積極 | 的に取り組めるよう 専門家による個別す | 5、様々な課題1 | こ対応する相談 | 方改革」に県内企業が 炎窓口を設置するととも かき方改革の実現を推進 | 5,621 | 129 |
| 商工労働部 労働政策課 | 鳥取県戦略 | | 技術 | 3分野(医療機器・ 人材を育成すること 雇用創出と県産業 | とで、新たな事業 | 美展開の実現 る | グICT産業で求められる を支援し、3年間で440 計す。 | 333,590 | 130 |
| 商工労働部 労働政策課 | とっとり高度成事業 | 技能開発拠 | 能・抗 よる! 長3: | 支術の訓練・開発拠 県内企業等との協調 | l点の形成に向 議、訓練プログ 係る教材開発に | けて、高度人 ラム検討ワー ^会 -向けた検討、 | 転を契機とした高度技 オ育成戦略会議開催に キンググループによる成 同時5軸加工機を設置 | 36,701 | 132 |
| 商工労働部 就業支援課 | (新) 鳥取県立ハ 事業 | ローワーク | 設置 なる ^l 策」と | 「鳥取県立ハローワ | リーク」を開設し 者と企業の一貫 | 、県の「産業施 | 委譲)を受け、全国初と 策」「雇用施策」「移住施 果的なマッチングを行 | 131,301 | 133 |
| 商工労働部 就業支援課 | (新) とっとり創生 ジェクト事業 | | ロを創 | |)場を創出する | ため、雇用環境 | 、新たなサービス産業 6の整備、人材育成、人 5性化を図る。 | 119,424 | 134 |
| 商工労働部 就業支援課 | とっとりプロス 材確保事業 | | への | 転換促進を図り、県 | 具内企業への都 | 市部のプロフ | 県内企業の攻めの経営 エッショナル人材の採用 県内就職を促進する。 | 33,000 | 136 |
| 商工労働部 就業支援課 | 正規雇用転業 | 換促進助成 | た事 充】 | 業者に対し、対象者 | 51人につき30 合を対象とした | 万円の助成金 加算措置(10) | 員を正規雇用に転換し を支給する。【制度拡 万円加算)について、平 | 60,000 | 137 |
| 商工労働部 就業支援課 | 鳥取県未来支援事業 | 人材育成奨 | を助 | 成し、IJUターン及び 出捐200万円)【拡 | ぶ産業人材の 確 | 保を促進する | 大学生等の奨学金返還 。(基金積増額:2億円、 と、幼稚園教諭を新たに | 243,424 | 138 |
| 農林水産部とっとり農業戦略課 | (新) スーパー農材 応援事業 | 林水産業士 | 農林育成 制度 | 水産各分野の専門 | 告者を県内の農 | 林水産分野で | 水産業士」の技術認定 の就業者として育成し、 保を推進する。 | 3,758 | 139 |
| | I | | | | | | | <u> </u> | <u> </u> |

| 所 属 名 | 事 業 名 | 事業概要 | 予算額 | 貢番号 |
|----------------|---|---|--------|------------|
| 県土整備部 県土総務課 | 技能労働者の就労環境改善 事業・将来の建設産業担い 手育成支援事業 | 建設従事者の就労環境の改善と若年者や女性の更なる雇用拡大に向けた 取組及び入職後の技術力向上に向けた取組を行う。 | 19,364 | 140 |
| 県土整備部 技術企画課 | (新) ICT·産官学民連携建設生産 性向上事業 | 産学官連携による担い手の確保・育成を図るとともに、ICT(情報通信技術) 等先端技術を活用した測量設計・工事の試行や、鳥取大学と連携して、維持 管理システム開発及び住民との協働による仕組みを構築し、生産性の向上 を図る。 | 27,897 | 141 |
| 教育委員会 高等学校課 | とっとり農林水産人材育成シ ステム推進事業(県版SPH 事業) | 農林水産業に関連する専門高校において、長期インターンシップ等の取組を通じて、多様な知識・技術や、専門的な資質・能力を生徒に習得させ、もって地域に貢献する人材を育成する。(農:倉吉農業高校、林:智頭農林高校、水:境港総合技術高校) | 16,226 | 142 |

4 暮らしの安心 52事業

県立中央病院建設工事が本格化するほか、平成29年度中の運行を目指してドクターへリ導入に向けた整備とともに、がん診療体制の質を高めるためのプロジェクトの立ち上げや、健康寿命延伸に向けた取組支援、「難病相談・支援センター」の拡充により医療提供体制の充実強化を図る。また、障がい者を多数雇用する農業参入企業の設備投資を支援するほか、「盲ろう者支援センター」の充実強化、地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステムを全県展開するための体制整備、認知症支援のための相談・サポート体制強化、ファイナンシャルプランナーと連携した生活困窮者支援、不登校生徒等へのアウトリーチ型支援を進める。更に、パリ協定発効を受け環境先進県づくりの県民運動を率先して進め、保護管理計画の見直しなど他府県連携によるツキノワグマ対策、カワウによる淡水魚被害対策、深刻なアユ資源減少の実態解明や魚道整備を進めるなど、豊かな自然との共生を図る。

| 所 属 名 | 事 | 業 | 名 | 事 | 業 | 概 | 要 | 予算額 | 貢 番 号 |
|-------------------|------------------------------|-------------------|-------------|---|--------------------|---------------------|-------------|---------|-------------|
| ① 障がい | _ を知り共 | に生 | きる | (13) | | | | | <u> </u> |
| 地域振興部 教育·学術振興課 | 私立学校都推進事業 | ・ <u></u> あいサホ | 『一ト教育 | 障がいのある人もない」 推進のため、新たに私立 に、LD、ADHD等特別 | 立学校における | 5手話教育への | 取組を支援するととも | 5,687 | 143 |
| 福祉保健部 障がい福祉課 | 鳥取県障力 | がい者ア | '一卜推進 | 「あいサポート・アートイ アートとっとり祭及びとっ 市) や県内での上演に要 | とり展の開催 | 、「じゆう劇場」 | | 110,759 | 144 |
| 福祉保健部 障がい福祉課 | 盲ろう者支業 | :援セン: | 9一運営事 | 盲ろう者相談員を増員(通費を公費負担するほう 練や家事等の生活訓練 | か、盲ろう者向 | け点字・手話等 | | 35,817 | 146 |
| 福祉保健部 障がい福祉課 | (新) 鳥取県障力 動支援事業 | | 首発的活 | 障がい児者のレクリエーし、新たに助成制度を創体) | | | | 2,000 | 147 |
| 福祉保健部 障がい福祉課 | (新) 措置入院角 強化事業 | 解除後 <i>0</i> |)支援体制 | 国の検討結果や国の動係るマニュアル(仮称)」 づいた支援を実施するかの研修会を開催する。 | を28年度中に | 作成予定であ | り、当該マニュアルに基 | 246 | 148 |
| 福祉保健部 障がい福祉課 | (新) 農業参入1 者就労促近 | | る障がい | 農業参入する企業が、私 となる設備整備費等を報 人以上の達成等。雇用額 | ffたに支援する | 。(要件:3年以 | 人内に障がい者雇用20 | 22,500 | 149 |
| 福祉保健部 子ども発達支援課 | (新) 放課後等 充実事業 | デイサー | ビス支援 | 放課後等デイサービス 充実を図るため、事業所 対象とした研修会等を行 | f設置者、管理 | | | 501 | 150 |
| 福祉保健部 子ども発達支援課 | 重度障がしショートスラ | | | 医療的ケアの必要な重がし、障がい福祉サービ 該短期入所時に付き添 | これ翻と診療 | 報酬との差額を | 上助成するとともに、当 | 19,910 | 151 |
| 生活環境部 緑豊かな自然課 | (新) 県立都市公 進事業 [一般公共 | | 加円滑化推 | 布勢総合運動公園におめに必要な事業(トイレを を実施する。 | | | | 47,000 | 152 |
| 商工労働部 就業支援課 | 障がい者家 | 忧業定着 | 支援事業 | | ため、訪問型シ するほか、障が | ショブコーチを配 い者職場サポ· | 記置する社会福祉法人等 | 85,907 | 153 |
| 商工労働部 就業支援課 | 特例子会社 | 土設立等 | 手助成金 | 特例子会社又は企業内の新規雇用を創出してい | | | | 13,125 | 154 |
| 教育委員会 特別支援教育課 | 発達障がし 事業 | 、児童生 | 徒等支援 | 発達障がいのある、ある 援の充実及び支援体制 可能性のある児童生徒 | の充実を図る | 。29年度から、 | 新たに、発達障がいの | 14,086 | 155 |
| 教育委員会 高等学校課 | 高校におけた大実事業 | ける特別 | 支援教育 | 国において制度化が進度からの開始に向けて、 育コーディネーターを配査・研究に取り組む。 | モデル校とし | て指定された県 | :立高校に特別支援教 | 7,347 | 156 |
| ② 健康づく | くりの推済 | 性・日 | 医療提供 | 共体制の充実 | (13) | | | | |
| 福祉保健部 健康政策課 | (新) 健康づくり | 鳥取モ | デル事業 | 地区単位(公民館等)や ど、健康寿命延伸に向い 健室の実施に要する経 | けた取組を支持 | 爰するとともに、 | | 6,433 | 157 |
| 福祉保健部 健康政策課 | (新) がん医療の ト事業 | の質向上 | :プロジェク | 鳥大への委託により、県質向上に関する研修会置・運営を行う。 | | | | 3,550 | 159 |

| 所 属 名 | 事 業 名 | 事 | 業 | 概 | 要 | 予算額 | 貢番号 |
|-------------------|---|---|---|---|---|-------------------|-----|
| 福祉保健部 健康政策課 | 鳥取県難病相談・支援セン ター事業 | 難病患者及びその家族 的負担の軽減を図るた を鳥取大学医学部附属 難病相談支援員のうち | め、各種相談に 属病院等へ委託 | :応じる難病相談 する。なお、29 ⁴ | ・支援センターの運営 | 11,185 | 160 |
| 福祉保健部 医療政策課 | 平成29年度鳥取県地域医療介護総合確保基金造成事業(医療分) | | 療・介護サービス | | | 1,780,000 | 161 |
| 福祉保健部 医療政策課 | 鳥取県地域医療介護総合研保基金事業(医療分) | 在 鳥取県地域医療介護線 て、病床の機能分化・選 確保・養成を行う。 | | | | 515,076 | 162 |
| 福祉保健部 医療政策課 | (新) 鳥取県訪問看護支援セン ター事業 | 訪問看護の「人材育成 取県訪問看護支援セン 護サービスの安定的供 | ノター」を看護協 | 会に委託して新 | | 8,403 | 163 |
| 福祉保健部 医療政策課 | (新) 鳥取県ドクターへリ導入事事 (格納庫・給油施設・搭載医療機器等整備費) | | | | | 432,883 | 164 |
| 福祉保健部 医療政策課 | 鳥取県ドクターヘリ運航事業 | * 鳥取ドクターヘリ(拠点 て、事業主体である関i H30.3運行開始予定 | 西広域連合へ負 | | | 25,271 | 166 |
| 福祉保健部 医療政策課 | (新) 鳥取県保健医療計画策定 業 | 第6次鳥取県保健医療 終了するため、新たな記 定する。 | | | | 1,928 | 167 |
| 福祉保健部 医療政策課 | 助産師出向支援事業 | 医療機関における助産 各圏域にコーディネータ 師等を育成トレーナータ 助産業務の指導を行う | ターを配置し、マ として、出向助産 | ッチングを行うと 師に同行させ、 | ともに、退職した助産 出向先において、直接 | 2,468 | 168 |
| 福祉保健部 医療政策課 | (新) 新卒訪問看護師育成支援 業 | 県補助により県看護協事 ム」を活用して新たに新に対し、人件費等の一プログラム(2年目)作品 | f卒の訪問看護師 部を支援するとる | 師を雇用し、育品 | はする訪問看護事業所 | 4,219 | 169 |
| 福祉保健部 医療指導課 | 薬剤師確保対策促進事業 | 県薬剤師会への補助に 等を行う。29年度は薬 | | | | 1,610 | 170 |
| 病院局 総務課 | 中央病院建替整備事業 | 平成30年10月の新病等を行う。(工事進捗率併せて、新病院建設に整備を含む)を実施する | (見込)H28:7 伴い、既存外来 | . 4%→H29:8 棟の改修工事(| | 19,207,312 | 171 |
| ③ 安心して | で暮らせる社会の実 | 現 (14) | | | | | |
| 地域振興部 教育•学術振興課 | 私立高等学校等就学支援会 | 金 家庭の状況にかかわら 込める環境をつくるため 「中学校就学支援金」を ける機会の確保を図る に対し、私立高等学校 | かに、国の「高等 を交付し、家庭の 。【拡充】私立中 | 学校等就学支持 教育費負担の 学校に通う年収 | 爰金」及び本県独自の 経滅、多様な教育を受 | 662,080 | 173 |
| 福祉保健部 福祉保健課 | (新) ファイナンシャルプランナー | するほか、困窮危険度 | を対象したライフ | プランを考える | 啓発セミナー等を開催 | 3,521 | 174 |
| | 連携した家計支援事業 | 困窮者支援窓口での相 | 目談支援等に活り | – – | 2771 E117XOL ±71 | | |
| 福祉保健部福祉保健課 | 連携した家計又接事業 成年後見支援センター運営 支援事業 | | における相談件 | 用する。 数の増加や、法 | 人後見受任件数の増 | 13,500 | 175 |
| | 成年後見支援センター運営 | 成年後見支援センター | における相談件見支援センター(活動をバックアン等の行う研修事業を創立100周年と | 用する。 数の増加や、法の支援体制の強 ップするため、そ 業等に対して補助になることから、 う | 人後見受任件数の増化を図る。 の活動経費を支援し、 切をするとともに、29 | 13,500 115,808 | |
| 福祉保健部 | 成年後見支援センター運営支援事業 | 成年後見支援センター加等を踏まえ、成年後 加等を踏まえ、成年後 民生委員・児童委員の 民生児童委員協議会等 年度は、民生委員制度 知っていただくための加 | における相談件見支援センター(活動をバックア・等の行う研修事業) 前立100周年 な 報経費を増額 イネーター及び事業所の開拓ペーク化を推進し、2 | 用する。 数の増加や、法の支援体制の強 ができるため、それでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で | 人後見受任件数の増化を図る。 の活動経費を支援し、 助をするとともに、29 活動内容を広く県民に 所育成員を各1名配 対相談支援実施機関と | , | 176 |

| 所 属 名 | 事 業 名 | 事 | 業 | 概 | 要 | 予算額 | 貢番号 |
|------------------------------|--------------------------------------|--|---------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|--------|-----|
| 福祉保健部長寿社会課 | とっとり介護人材発進・介護 技術発信事業 | 「介護職員初任者研修 (2万円)を追加するとと 必要な「介護職員実務・ を新たに補助するほか ムを開催する。 | さもに、介護事業者研修」を職員 | き者が介護福祉: に受講させる場合 | 士の国家試験受験に 合、その受講料の一部 | 22,959 | 179 |
| 福祉保健部 長寿社会課 | みんなで支え合う地域包括 ケア全県展開事業 | 平成30年4月の全市町療・介護連携推進事業 町村の体制整備を強力 | 、(3)認知症総 | 合支援事業の実 | | 10,929 | 181 |
| 福祉保健部 長寿社会課 | (新) 認知症地域支え合い運動事 業 | 認知症家族の介護を経て養成し、ピアカウンセ | | | | 1,275 | 183 |
| 福祉保健部 長寿社会課 | 認知症サポートプロジェクト 事業 | 認知症の人やその家族は、新たに看護職員向防リーダー養成事業を制を強化する。(西部: | け認知症対応 ナ 実施するととも1 | り向上研修事業 こ、若年性認知短 | や住民向け認知症予 定支援のための相談体 | 49,709 | 184 |
| 生活環境部 くらしの安心推進課 | 支え愛交通安全総合対策事業 | 「鳥取県支え愛交通安 め、高齢者が加害者・ まえ、高齢者の交通安 助を実施する市町村へ 推進する。 | 披害者となる交流 全対策を実施す | 通事故の割合が るとともに、中語 | 増加していることを踏 5生のヘルメット購入補 | 27,938 | 186 |
| 教育委員会 いじめ・不登校総合 対策センター | 不登校生徒等訪問支援、居 場所づくり事業(不登校対策 事業) | 義務教育終了後の高校 校復帰や就労、社会参 に、中・西部地区に教育 制を強化する。 また、小中学校年代の 生活適応支援員(市町 | 加を支援するた す支援施設を設 不登校児童生徒 | こめ、既設の東部 置し、アウトリー 走へのアウトリー | 3地区に加えて、新た チ型支援を含めた体 チ型支援を行う学校 | 53,529 | 187 |
| 教育委員会 社会教育課 | (新) 児童養護施設等と連携した 自然体験活動推進事業 | 大山青年の家及び船上 生活支援施設の入所者 | | | | 2,022 | 188 |
| 教育委員会 図書館 | (新) 図書館を活用した「サポート の必要な家庭応援」事業 | 図書館の「資料」や「場り親家庭等を支援する。 サポートの必要な家庭 | 。新たに、セミナ | 一、勉強会を開 | 催し、市町村図書館や | 392 | 189 |
| 4 豊かな自 | 自然との共生 (12 | 2) | | | | | |
| 地域振興部 交通政策課 | (新) 環境にやさしい公共交通利 用促進事業 | パリ協定の発効を契機 用促進に向けた機運酵 実験や県民ノーマイカー | 成及び普及啓 | 発を図るため、ノ | | 6,393 | 190 |
| 生活環境部環境立県推進課 | (新) 新たなステージへ!地域ぐる みの環境実践振興事業 | パリ協定の発効を契機携・協働による環境先設とつとり環境まつりの開施する。 | 進県実現のため | の事業(とっとり | 環境推進県民会議・ | 14,062 | 191 |
| 生活環境部 環境立県推進課 | 水素エネルギー推進事業 | 水素エネルギーを活用 もに、鳥取県水素エネル 方策検討や研究会・セミ | ルギー推進ビジ | ョン(H28. 2策) | | 26,555 | 192 |
| 生活環境部 環境立県推進課 | 地域エネルギー資源活用支 援事業 | 木質バイオマス熱利用 の燃料転換・熱利用を 及びエネルギーの地産 | 推進することに。 | より、地域エネル | | 34,000 | 193 |
| 生活環境部 環境立県推進課 | 日本海沖メタンハイドレート調査促進事業 | メタンハイドレートに関き 実施するとともに、鳥取 究や技術開発を行う人 術調査に重点を移すこ シアムを設置し、回収打 | ス大学大学院に 材の育成等を行 とに対応し、大学 | 開設している寄阪 テう。また、国が 学や地元企業な | 付講座により、調査研 武存量調査から回収技 | 28,673 | 194 |
| 生活環境部 循環型社会推進課 | (新) ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業 | 「第8次鳥取県廃棄物タス」の削減をテーマに対の促進(食べきり協力にらなるごみの発生抑制 | か児を対象とした 生の対象拡大や | - 啓発の実施や事 ・流通過程の食品 | 事業者のごみ減量活動 | 3,066 | 195 |
| 生活環境部循環型社会推進課 | PCB廃棄物処理対策推進事業 | PCB廃棄物の早期・適 者への処分費支援に伊づき、漏れのない確実が 未把握PCB廃棄物の振 | fせ、H28. 8に な期限(もっとも | 施行されたPCB! 早いものでH30 | 特別措置法改正に基 | 30,353 | |
| 生活環境部 緑豊かな自然課 | 特定鳥獣保護管理事業 | 28年度のクマ大量出沿 (ツキノワグマ)保護計 に基づき、効果的な実 1種特定鳥獣保護計画 身被害等の防止を図る | 画」「第二種特定 行体制の整備を 「」では新たにゾ | ≧鳥獣(イノシシ・ ·行う。なお、28⁴ | ニホンジカ)管理計画」 年度中に改定する「第 | 30,483 | 197 |

| 所 属 名 | 閘 | 業 | 名 | 事 | 業 | 概 | 要 | 予算額 | 貢 番 号 |
|-------------------|-----|-----------------|-------|--|-------------------|-------------------|------------|--------|-------------|
| 生活環境部 緑豊かな自然課 | カワウ | 被害緊急対 | | カワウによる淡水魚の を踏まえ、主要河川(千 べき重要区間を選定し (胃内容物調査、河川の | 代川・天神川・日野、重点的に被害対 | 野川)のうち、 策(営巣地で | カワウの被害から守る | 6,292 | 198 |
| 生活環境部 くらしの安心推進 | | を護センター | | (公財)動物臨床医学研 県動物愛護センター機 託するとともに、アミティ | 能(県譲渡動物の | 飼養・譲渡・通 | 箇正飼養指導等)を委 | 58,593 | 199 |
| 水産振興局 栽培漁業センター | | [源緊急回復 | | 27年度から実施していて、河川におけるアユ等 証調査を実施する。 | | | | 4,611 | 200 |
| 県土整備部 河川課 | |)ネットワー 公共事業] | ク再生事業 | 水生生物の遡上を阻害 について、学識経験者 効果的な簡易魚道整備 | や漁業関係者等の | | | 8,000 | 201 |

5 未来を支える人財の育成 51事業

全国一の保育料無料化に加え、新たに在宅子育て世帯への支援を市町村と共同で始めるとともに、「とっとり版ネウボラ」の整備推進、「とっとり子育て隊」の加入促進、親の仲間づくりや子どもの預かり合いへの支援、山陰両県合同での婚活応援プロジェクトをスタートするほか、保育士、幼稚園教諭の処遇改善を進めるなど、子育て王国を更に進める。また、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む「コミュニティ・スクール」の導入促進、全市町村共同の学校支援システムの導入、学校現場の学力向上の取組支援を進める。更に、オリンピアン育成のためクライミング施設の拠点整備、本県出身日本代表候補選手の合宿・遠征支援、グラウンド・ゴルフ国際大会を開催するほか、高等学校運動部活動指導員を新たに配置し、更なる本県スポーツの振興を図る。工芸・アート村の開村や、青谷横木遺跡で出土した「女子群像」板絵の情報発信、青谷上寺地遺跡整備の基本設計を進めるとともに、県立美術館の基本計画策定に着手するなど、芸術文化の拠点づくりを推進する。

| 所 | 属 | 名 | 事 | 業 | 名 | 事 | 業 | 概 | 要 | 予算額 | 貢番号 |
|------------|-----|----------|-----------------------|------|---------------|--|-------------------|---------------------------------|---------------------------------------|-----------|-----|
| 1 | 子育 | ĪΤΞ | 国の充 | 実 | (26) | | | | | | |
| 福祉保 福祉保 | | | 子どものほ デル事業 | 居場所づ | くり推進モ | 低所得世帯やひとり親家 づくり」として事業を実施す 2)する。 | | | | 9,500 | 202 |
| 福祉保福祉保 | | | 学習支援 | 充実事業 | * | 生活困窮者世帯・ひとり新 向け、国事業、単県事業、 | | | 2 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 | 4,939 | 203 |
| 福祉保障がい | | Į. | 特別医療 | 費助成事 | 業費 | 重度心身障がい者、精神 する者の医療費(本人負: する。平成29年4月より に訪問看護を加える。< | 担分)のうち、 寺定疾病、ひ | 市町村が助成 とり親家庭、小 | した金額の1/2を支援 児に係る医療費の対象 | 1,665,836 | 204 |
| 福祉保子育で | | <u></u> | 私立幼稚[(私立幼稚 | | 養補助金 費補助金) | 私立幼稚園の教育条件の を高めるため、私立幼稚! 員の給与を5%以上ベー 経費の一部を新たに助成 | 園の運営費に スアップする | 対して助成す | る。29年度は、常勤教 | 436,507 | 205 |
| 福祉保子育で | | ļ. | (新) 山陰両県i ジェクト事 | | 舌応援プロ | 生活圏の重複する山陰両 支援アプリ作成、結婚から の結婚支援施策を効果的 | >子育てまで | 地域で応援機 | | 23,569 | 206 |
| 福祉保子育で | | ! | (新) お う ちで子 | ・育てサ | ポート事業 | 保育所等を利用する世帯 進めてきたことを踏まえ、 児世帯に対する経済的支 | 子育て支援の | D対象をより広 | げる観点から、在宅育 | 100,544 | 207 |
| 福祉保子育で | | ! | (新) 「とっとり子 事業 | -育て隊 | 」加入促進 | とっとり子育て隊の隊員に登録してもらい、子育でより、子育でについて「困築する。 | 分野に特化し | したボランティブ | ア情報を配信することに | 1,255 | 208 |
| 福祉保子育で | | <u> </u> | とっとり婚え事業 | 活応援フ | プロジェクト | 「えんトリー(とっとり出会) グ事業を実施するとともに けた出会いの機会創出等 | こ、婚活イベン | 小開催団体へ | の経費支援や結婚に向 | 27,145 | 209 |
| 福祉保子育で | | <u> </u> | 保育·幼児 強化事業 | 教育の | 質の向上 | 保育専門員による保育所により、保育・幼児教育のおいて、シリーズの講座をの仲間づくりや子どもの形 | 質の向上を 開催するなど | 図るとともに、 、 どにより、親同 | 子育て支援センター等に 士の交流だけでなく、親 | 11,671 | 210 |
| 福祉保子育で | | <u></u> | 保育料無信事業 | 賞化等子 | 子育て支援 | 世帯の第3子以降の保育 減を行うことで、子どもを生 の向上を促進する。 | | | | 495,977 | 211 |
| 福祉保子育で | | <u></u> | 中山間地域 | | 付保育料無 (| 中山間地域市町村の保育からの若い世代の流入ととする市町村を支援する。 | 定住を促進し | | | 72,931 | 212 |
| 福祉保子育で | 応援課 | Į. | とっとり版 | ネウボラ | 推進事業 | 子育て世代包括支援セン士、子育て支援員等国庫 2)をメニューに加えるとと 一部(妊産婦や乳幼児の る。 | 補助対象外の :もに、子育で | の職種に限る) 応援市町村交 | の経費助成(補助率1/ 付金の支援メニューの | | 213 |
| 福祉保子育で | | ŧ | 保育士確何 | 呆対策支 | 支援事業 | 潜在保育士への就業支持 営するとともに、指定保育 支援する。 | 援等を実施す す士養成施設 | る「保育士・保 が行う保育所等 | 育所支援センター」を運 等への就職を促す取組を | 10,610 | 214 |
| 福祉保子育で | | <u> </u> | 鳥取県野幼 | 外保育仍 | 足進事業 | 本県の恵まれた自然環境 経験を持てる環境を構築 おいて認証された園の運 保育所・幼稚園等の自然 | するため、とて 営費を助成す | っとり森・里山等 るとともに、自 | 等自然保育認証制度に 然保育を定期的に行う | 25,854 | 215 |
| 福祉保 子育て | | ļ | 子ども・子 | 育て支持 | 爰交付金 | 市町村が、市町村子どもも・子育て支援事業」に必 | | | | 530,947 | 216 |
| 福祉保子育で | | ļ | 子育て応払 | 爰市町村 | 寸交付金 | 創意工夫を行い地域の実 主体的に取り組む市町村 進する。 | | | | 18,000 | 218 |

| 所 属 名 | 事業 | 名 | 事 | 業 | 概 | 要 | 予算額 | 貢 番 号 |
|------------------------------|----------------------------------|---------------|---|-------------------------------|----------------------|-------------------------|---------|-------------|
| 福祉保健部 子育て応援課 | 地域少子化対策 付金事業 | ! | 地域少子化対策重点推 娠・出産、乳児期を中心 組を実施する。 | | | | 51,069 | _ |
| 福祉保健部 子育て応援課 | 不妊治療費支援事 | | 不妊治療の経済的軽減 工授精に係る費用の助 | | 定不妊治療(男 | 性不妊含む)及び人 | 186,243 | 220 |
| 福祉保健部 子育て応援課 | 希望をかなえる妊 援事業 | | 不妊治療が必要な場合 不妊検査に要する経費 談センターの運営を県り | の助成を行う。 | また、専門相談 | 業務を担う不妊専門相 | 3,943 | 221 |
| 福祉保健部 子育て応援課 | 健やかな妊娠・出 の応援事業 | - - - | 女性の健康づくり支援((出産、子育てを控える年 めの出前講座等や思春 た、妊娠期からの不安、 窓口マップ作成、配布を | ■齢層に対し、世 期世代のピアナ 悩みの解消を | t代にあわせてī コウンセラーの養 | Eしい知識の普及のた 成・派遣を行う。ま | 7,734 | 222 |
| 福祉保健部 青少年·家庭課 | ひとり親家庭自立 金事業 | J | ひとり親の経済的自立る 座の受講料や、就職に を支援する。 | | | | 4,450 | 223 |
| 福祉保健部 青少年·家庭課 | ひとり親家庭高等 促進資金貸付事業 | <u> </u> | 高等職業訓練促進給付 の取得を目指すひとり親 付事業を行う鳥取県社会 | 見家庭の親に対 | し、入学準備金 | 及び就職準備金の貸 | 1,987 | 224 |
| 福祉保健部 青少年·家庭課 | ひとり親家庭学習 | | ひとり親家庭の児童の る。また、自宅から学習 行う際の経費を補助する | 会場が離れてし | | | 24,377 | 225 |
| 福祉保健部 青少年·家庭課 | 児童養護施設退所 支援資金貸付事業 | ŧ l | 児童養護施設等を退所 した生活基盤の確保が 子)を行う鳥取県社会福 | 困難である者に | 対して、家賃や | 生活費の貸付(無利 | 1,007 | 226 |
| 福祉保健部 青少年·家庭課 | (新) 児童養護施設等 <i>0</i> 確保事業 | D職員人材 | 児童養護施設等への就 導に当たる職員の代替 とともに、実習を受けた! 非常勤職員として採用す | 職員を雇用する 学生の就職を促 | ために必要な紀 建させるため、 | を費を新たに助成する 就職前に一定期間、 | 2,451 | 227 |
| 福祉保健部 青少年·家庭課 | 児童扶養手当支約 | | 県が福祉事務所を設置 り父又は母と生計を同じ て、児童扶養手当を支約 | くしていない児 | | | 81,025 | 228 |
| ② 学力向上 | ・教育の充 | 実 (1 | 10) | | | | | |
| 教育委員会 小中学校課 | (新) コミュニティ・スクー 進事業 | -ル導入促 | 学校・家庭・地域が一体 スクール(保護者、住民 導入促進や取組充実等 事業費を支援する。(国 | 代表等からなる を行う市町村に | 学校運営協議会 対し、CSディレ | 会を導入した学校)の | 13,042 | 229 |
| 教育委員会 小中学校課 | (新) 市町村立学校の特 ステム導入支援事 | 学校業務シ | 県内市町村立学校が共 の共同調達により導入で /2)を支援する。 | | | | 279,407 | 230 |
| 教育委員会 小中学校課 | (新) プログラミング教育 事業 | 育実施支援 | 次期学習指導要領にお について、新たに、小学 験会を開催する。(研修 | 校教員等を対象 | 東とした研修会及 | | 1,056 | 231 |
| 教育委員会 小中学校課 | (新) 学力向上を支える 支援事業 | 基盤づくり | 各学校における学力向. 通実践のための教員向 法を記載したリーフレッ! | けの参考資料ス | 及び「とりっこド! | Jル」の具体的活用方 | 4,019 | 232 |
| 教育委員会 いじめ・不登校総合 対策センター | (新) 安心・安全な学級 ジェクト事業 | づくりプロ (| 文科省が開発した脳科: の予防のためのプログ: 区)で実践し、不登校や に広める。 | ラム(STARTプ | ログラム)を、3- | モデル地域(中学校 | 635 | 233 |
| 教育委員会 高等学校課 | | 力を育む次 | アクティブ・ラーニングを に、文部科学省が進め ^っ | | | | 5,390 | 234 |
| 教育委員会 高等学校課 | 小学校英語パワー 業〜拠点小学校を る英語教育強化事 | 中心とす | 県内小学校5校をモデノ に指定の上、外国語指導 等を実施する。 | | | | 26,247 | 235 |
| 教育委員会 高等学校課 | 中学校のための語 解促進事業 | | 中学生や保護者及び中 ため、参観週間等の実 県外募集に向けた取組 | 施や進路指導資 | ₹料の作成・配布 | īを行う。29年度から、 | 2,310 | 236 |
| 教育委員会 社会教育課 | インターネットとの 方教育啓発推進事 | 業 | 子どものメディアとの関? 討するとともに啓発事業 フォーラムの開催、親子 | 等を実施する。 | 29年度は、新加速を | | 6,039 | 237 |
| 教育委員会 図書館 | (新) デジタル化時代の | | 図書館が有する資料・情機能や県民参加のため | | 1 7 1 7 | | 2,591 | 238 |

| 所 属 名 | 事 | 業 名 | 事 | 業 | 概 | 要 | 予算額 | 貢 番 号 |
|----------------|-------------------------|--------------------|--|--------------------|---------------------|---------------------------|---------|-------------|
| ③ スポー | ツの振興 | (7) | • | | | · | | - |
| 地域振興部 スポーツ課 | (新) 東京オリ・パ | ラ施設整備事 | オリンピック選手輩出のた 国内拠点として、倉吉市に | | | | 93,779 | 23 |
| 地域振興部 スポーツ課 | 東京オリ・パ事業 | ラターゲット競 | 技 2020年の東京オリンピッが出場できるよう競技・選に、本県での事前キャンブ計画に基づく各種交流事業 | 手を指定し、単 『実現に向け、 | 戦略的に強化す 国の認定を受 | え援を実施するととも | 41,206 | 24 |
| 地域振興部 スポーツ課 | (新) 世界に羽ばが アスリート発 | たく鳥取ジュニ 掘事業 | 東京オリンピック・パラリンア オリンピックへの憧れをもっ 活躍できるよう、スポーツ 気で活力ある鳥取県を創む | つ子ども達が、 選手の発掘・ī | スポーツで世界 | 『の舞台に飛び立ち、 | 6,911 | 24 |
| 地域振興部 スポーツ課 | グラウンド・= 進事業 | ĭ ルフ聖地化 抗 | 関西ワールドマスターズゲ フの本県開催が決定したこ くPRし、競技の世界的な音 組を進める。 | ことを踏まえ、 | グラウンド・ゴノ | レフを国内外問わず広 | 11,180 | 24 |
| 地域振興部スポーツ課 | 12-4 | ヾマスターズゲ 閉催準備推進『 | | 一、自転車ト -ツ振興、生涯 | ラック/ロード、 Eスポーツを通 | 柔道、グラウンド・ゴル じた交流人口の拡大や | 15,356 | 24 |
| 教育委員会 体育保健課 | (新) 高等学校運 の配置 | 動部活動指 導 | 教員の多忙化の軽減及び 認める「運動部活動指導員 免許(水上での指導時に必 デル的に配置する。 | 員(非常勤職員 | 員)」を配置する | 。29年度は、専門的な | 3,929 | 24 |
| 教育委員会 体育保健課 | (新) 平成30年度 育大会開催 | 全国中学校体 集備事業 | 30年度に全国中学校体育 も2競技(サッカー、ソフトオ 設立する鳥取県実行委員 | ドール) が開催 | 崖されることにな | | 2,340 | 24 |
| ④ 芸術・ | 文化の振り | 具 (8) | · | | | | | |
| 地域振興部 文化政策課 | 舞台芸術拠 | 点創造事業 | 「鳥の劇場」と地元まちづく 心に、「地方における舞台 来の活動に加え、演劇を通 わりながら、文化芸術の酵 | 芸術」の活動 通して、教育理 | ・情報発信等に | 取り組むとともに、従 | 37,470 | 24 |
| 地域振興部 文化政策課 | 工芸・アート | 村推進事業 | 国内外のアーティスト等が う「アートピアとっとり」を創 住し、活気ある創作活動か 「工芸・アート村」の創出・ま | 造することを が行われること | 目的に、複数の |)作家アーティストが居 | 8,000 | 25 |
| 地域振興部 文化政策課 | 第19回北東 展示会 | アジア美術作 | 品 鳥取県で開催予定の【震災府サミットに併せ、友好交送がア美術作品展示会を平成 | 流先である北 | 東アジア5地域 | による第19回北東ア | 9,531 | 25 |
| 地域振興部 文化政策課 | 第15回とりる合芸術文化部 | アート(鳥取県祭)開催事業 | 総 県内の文化芸術活動のす 「第15回とリアート(鳥取県 化祭実行委員会に対して でダンスを公演予定) | 具総合芸術文 | 化祭)」を実施る | する鳥取県総合芸術文 | 72,507 | 25 |
| 地域振興部 文化政策課 | 倉吉未来中/ 整備事業 | 心大・小ホール | 倉吉未来中心のホールの 新、トイレ改修)を行う。(平 の入札・契約、実施設計、 | ☑成28~30年 | F度継続事業、 | 平成29年度は各設備 | 185,262 | 25 |
| 教育委員会 文化財課 | (新) 青谷横木遺 絵情報発信 | · - | 鳥取市・青谷横木遺跡のき ポジウム(テーマ:「描かれ 広く県民に周知するための | た女子群像の | の謎」)の開催等 | | 1,500 | 25 |
| 教育委員会 文化財課 | 史跡青谷上: | 寺地遺跡整備 | 事 史跡青谷上寺地遺跡の保 整備を行うための基本設ま 8年度公開予定) | | | | 10,355 | 25 |
| 教育委員会 博物館 | (新) 鳥取県立美術 業 | 析館整備推進 | 「鳥取県立美術館整備基本 事 びPFI手法導入可能性調 民の支持と参画を得て運覧 活動を展開する。 | 査を実施(22 | 百万円)すると | ともに、地域に根ざし県 | 29,928 | 25 |